

## 2024年度決算及び2025年度予算について

財務委員会担当副会長 山口 知子

2025年11月8日に都ホテル京都八条陽明殿において第32回定時総会が開催され、2024年度決算と2025年度予算について審議の上ご承認をいただきました。ここにその概要をご説明いたします。

### (1) 2024年度資金収支一般会計決算

前年度繰越金が約1,314万円、次年度繰越金が約1,415万円、差し引き約101万円の増加となります。

次に予算と決算を比較すると、総会・懇親会の参加人数の減少により、臨時会費収入が約100万円減少、それにリンクし事業費支出が約95万円減少となっています。また旅費・交通費支出約42万円の減少はオンライン会議の増加などによるものであります。

予算管理に大きな齟齬はなく、さらに順調に運転資金も増加していることから、財政は健全化に向かっていると思われます。

### (2) 2024年度資金収支特別会計決算

今年度は設立30周年記念行事・事業特別会計の期間となります。

収入の方では、募金収入が約580万円で達成率72.5%、広告収入が約57万円で達成率60%となっております。

支出の方では、記念行事支出が増加しておりますが、これは主に記念式典などの支出によるものです。

またその他の支出は間接経費として、一般会計から補填をしています。

今年度の国際留学奨励金はアメリカ・アリゾナ大学ロースクール1名とスイス・チューリッヒ大学1名、計40万円を支給しました。

### (3) 2025年度資金収支一般会計予算

2025年度の予算は、前年度予算対比で収入合計は約80万円減少、支出合計は約146万円減少、次年度繰越金は約66万円減少となる見込みです。

前年度繰越金と次年度繰越金の増減は、2024年度は約180万円の減少、2025年度は約216万円の減少となり、2025年度は2024年度よりも約167万円の減少となります。前年度よりも大きく減少した主な要因は、学生数減少による収入減少と設立30周年記念事業への補填による支出額の

増加によるものです。

(4) 2025年度資金収支特別会計予算

2025年度は、前年度と同様に設立30周年記念事業を行っており、資金の流動性が高い年度になっています。特に大きな支出としては、行事・事業費支出において、設立30周年記念誌発行事業に約290万円を計上しております。

また募金収入を前年度と同額の400万円で計上しているため、次年度繰越金が約770万円と資金が潤沢であるように見えますが、募金収入額によっては継続事業である国際留学奨励金授与事業を支えていくことが難しくなる可能性があります。

以上